

1学期の終業式を迎えます。新型コロナの影響で、今学期は学校を休まなければならなかった人もたくさんいましたね。体調を崩してしまった人は、回復しましたか。たいへんな時期だからこそ、学校で、仲間とともに学び、会話し、悩みを共有したりそれに共感したりすることができる喜びも感じられたのではないのでしょうか。クラスメイトとの再会に、「久しぶり!」「待ってっただよ!」…そんな声も聞こえてきて心温まることもありました。皆さんにとって、どんな1学期でしたか。今回のたよりでは、1学期におこなった1・2年生のホームルーム活動をふりかえります。

◎1年生：コミュニケーションについて考える

1年生は、多様な価値観にふれるために「4つのコーナー」という活動と、コミュニケーションの必要性について考えてもらうために「形があったよ」というグループワークをおこないました。



感想より

- ④「4つのコーナー」の活動では、友達に合わせず自分の意見で動けました。自分の意見で行動することも大切だということに気づきました。
- ④コミュニケーションにはバラバラな考えをひとつにする力があって、大事にしないといけないと思いました。
- ④1つのことを何人かで考えていると、分からないことがあっても、誰かの考えがあることで解決することに気付くことができました。
- ④分からないことがあったら周りの人に聞いて、みんなで協力して助け合おうと感じました。

人権についての学習をはじめると、

★一人一人違って当たり前であること

★異なる考えを尊重すること

★仲間と協働することの大切さ

★コミュニケーションの意味や意義

これらについて感じてもらったのではないのでしょうか。一人一人を大切に、誰一人取り残すことなく歩みを進めることができる社会を目指すことが、大げさに思えるかもしれませんが、人権教育の目指すところでもあります。社会にはさまざまな立場や意見、思いの人がいるという大前提を忘れずにいたいですね。

◆1年学年主任：原先生より

コミュニケーションの大切さを再確認する貴重な機会になったことと思います。今回学んだことを生かして、今後の高校生活を充実したものにしてくれることを願っています。

◎2年生：部落差別の歴史と現実から学ぶ①

2年生は、部落差別の歴史と現代にもおよんでいる問題について、1年間通して学んでいきます。歴史を正しく知り、歴史を通して、現代に生きる私たちのあり方や生き方について考えるためです。1学期は、「差別」はどうして生まれたのか、人々の「差別意識」はなぜ消えなかったのか、明治時代に出された「解放令」前後の歴史から考えました。



感想より

☞ 明治政府が「解放令」を出したのは優しいなと思ったけど、結局、制度だけで人々の意識が変わらなかったんだとわかりました。人は、他人の立場を自分より下にさげて差別することでストレス発散しているようにも思えました。

解放令によって制度的な差別がなくなっても、民衆の間にある差別意識がなくならなかったのは、明治政府の政策に対する民衆の「不満」や「不安」があったからだと考えられています。私たちは、自分自身に「不満」や「不安」がつり合いそれが強いストレスになると、自分自身を守り正当化するために周囲を「攻撃」しようとする心理がはたらくと言われていました。当時、民衆の攻撃の矛先は差別されてきた人々に向けられ、「解放令反対一揆」というすさまじい出来事になりました。

感想より

☞ 「気に入らないから」という自分勝手な思いで一方的に人を傷つけることは絶対にしないようにしたいと思いました。自分の思っている通りにいかなかったり、理解されなかったりすることもあるかもしれないけれど、そのことについてキレたり不機嫌になったりするのはなく、それを理解して落ち着くことも大事だと思いました。



差別を生まないためには、自分にも「差別をしてしまう危険性」や「誰かを攻撃してしまいたくなる弱さ」があることを、理解しておくことが大切です。人間としての自分の心の弱さに気づき、その心を癒やしたり、うまくストレスを発散したりできるようにしたいものですね。

感想より

☞ なぜ、今になって昔の差別のことを勉強するのか、はじめは理解できなかったけど、自分にも関係ないことでは無いし、人のことを差別する目で見えてしまわないようにしようと思いました。差別に苦しんだ人たちがいることで、私たちが勉強することができるのだと思いました。

◆2年学年主任：小村先生より

資料を読み、ワークシートにしっかり取り組みました。この学習で、明治時代の人々も現代の私たちと同じように社会の中で喜びや苦しさを感じて生きていたことや、差別につながる心理に気づくことができたと思います。この学びを日々の生活の中で生かしていきたいですね。

<この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇>